http://www.sangetsu.co.jp

お問い合わせは、お買い上げの販売店または下記事業所へお申しつけください。

● 本社／名古屋店
〒451-8575 名古屋市西区幅下1-4-1
TEL.052-564-3111 FAX.052-564-3191

● 名古屋ショールーム
〒451-8575 名古屋市西区幅下1-4-1
TEL.052-564-3225 FAX.052-564-3229

● 東京店
〒140-8611 東京都品川区東品川3-20-17
TEL.03-3474-1181 FAX.03-3450-5038

● 東京ショールーム クレリア
〒107-6003 東京都港区赤坂1-12-32
アーク森ビル3階
TEL.03-3505-3300 FAX.03-3505-5235

● 大阪店
〒660-0857 兵庫県尼崎市西向島町111-4
TEL.06-6414-3311 FAX.06-6414-3312

● 大阪ショールーム
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25
ハービスOSAKA4階
TEL.06-6347-9110 FAX.06-6347-9811

● 札幌店
〒003-0011 札幌市白石区中央一条2-1-37
TEL.011-832-3111 FAX.011-832-3333

● 仙台店
〒984-0031 仙台市若林区六丁目字南98-1
TEL.022-287-3765 FAX.022-287-2995

● 岡山店／ショールーム
〒701-0301 岡山県早島町総合流通センター内
TEL.086-292-3300 FAX.086-292-3322

● 福岡店
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-11-11
TEL.092-441-5181 FAX.092-441-5191

● 福岡ショールーム
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-11-11
TEL.092-441-9500 FAX.092-441-9503

● 広島営業所／ショールーム
〒730-0842 広島市中区舟入中町2-28
TEL.082-233-3551 FAX.082-233-3501

SANGETSU

ドラム式　シングル・ツインシェード

取扱説明書 NO. SA－DST1107

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

目　次

安全上のご注意 **必ずお守りください**

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

●本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告 製品の取扱いを誤った場合､死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

 注意 製品の取扱いを誤った場合､傷害を負うことが想定されるか､または物的損害の発生が想定される危害･損害の程度を示しています。

●本書では､お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分し説明しています。

⊘ 製品の取扱いにおいて､その行為を｢禁止｣する記号です。

❗ 製品の取扱いにおいて､指示に基づく行為を｢強制｣する記号です。

取付け上のご注意 **（取付け前に必ずお読みください）**

 警告

⊘ 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。

❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

 注意

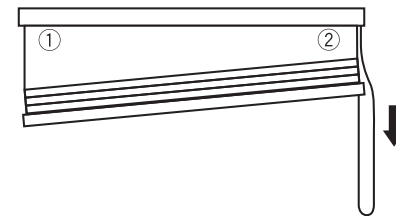
⊘ 本製品は屋内用です。屋外への取付けはしないでください。

⊘ 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けないでください。

❗ 製品は､水平に取付けてください。

幕体の左右高さの調整方法

幕体取付け後､幕体を上げてみて､左右の高さが合っているかどうか確認してください。

合っていない場合は幕体を降ろした状態で､各昇降コードの張り具合が､同じになるよう次の手順で調整を行ってください。

①下がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを短めに巻き直してください。

②上がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを長めに巻き直してください。

マーキングについてのおことわり

ローマンシェードの一部に縫製加工上のマーキングチャコ(紫色)が残っている場合があります。これは数日程で消えますが､気になる場合は水をふくませた布でふくと早く消えます。

●マーキングが残っている場合の消し方

❶ 水をつけた布を軽くしぼります。

❷ マーキングの残っている箇所を布で軽くたたくようにして濡らします。

※綿等､縮みやすい素材は濡らしすぎないように注意してください。

❸ マーキングは水とともに蒸発します。

梱包材の処理方法

●梱包材は可燃ゴミと､不燃ゴミに分別して処分してください。

●各自治体により分別基準が異なりますので､それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

お手入れ方法（シングル・ツイン共通）

●幕体の取付け方法

バルーンスタイルの場合

❶フレームに幕体を取付けてください。

❷リングの小さい方の穴をリングテープのループ部に取付けてください。

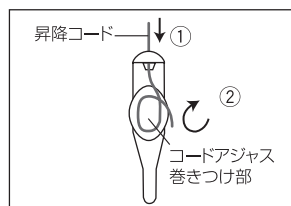
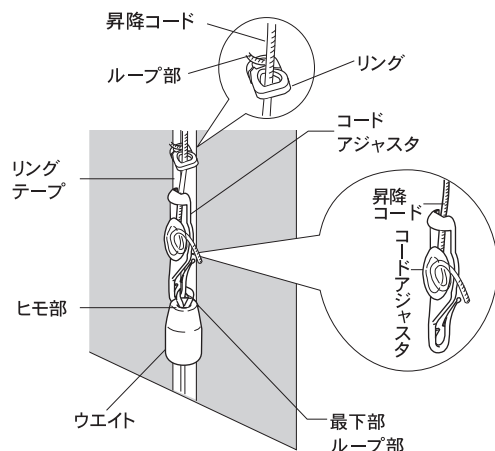
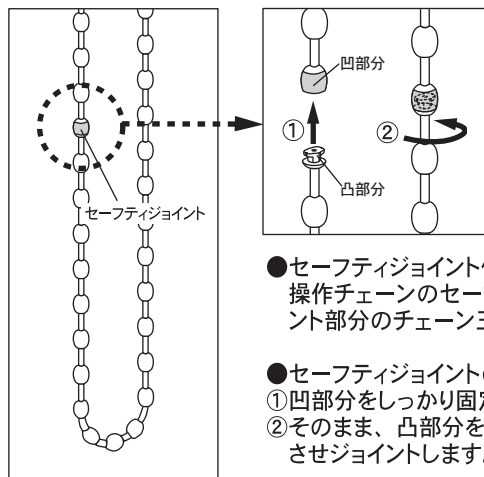
❸最下部のループ部へは、コードアジャスタを取付けてください。

昇降コードをリングの大きい方の穴に通してください。幕体上部から順に通します。

万が一通し忘れた場合には、リングの横の切り込みから昇降コードを入れることもできます。

❹コードアジャスタの上部から昇降コードを通し（①）、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。次にコードアジャスタ巻きつけ部（②）に余った昇降コードを2,3回転巻き付けてください。

※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所（あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。

❺ウエイトをコードアジャスタに引っ掛けてください。

セーフティジョイント（セーフティ機能付）

●操作チェーン（環状）に、人の手や足が引っかかった場合に、また通常操作以上に負荷がかかった場合などに、チェーンに組み込んだセーフティジョイントが分離する仕組みの部品です。

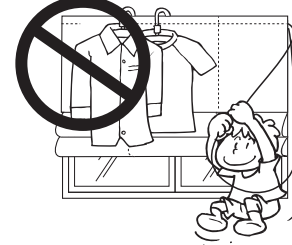
●セーフティジョイント位置の見分け方
操作チェーンのセーフティジョイント部分には、見つけやすいようジョイント部分のチェーン玉に色が付いています。

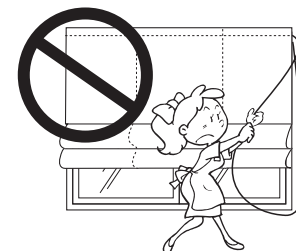
●セーフティジョイントのはめ込み方法
①凹部分をしっかり固定した状態で、凸部分を凹部分に差し込みます。
②そのまま、凸部分をおよそ90度（差し込んだ方向で時計回り）に回転させジョイントします。

使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

⚠警告

⦸ 操作チェーンが体に巻きついたり､引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。

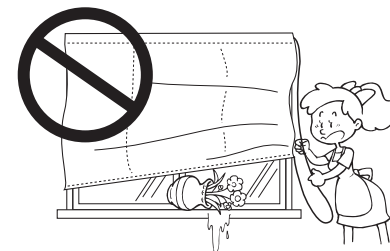
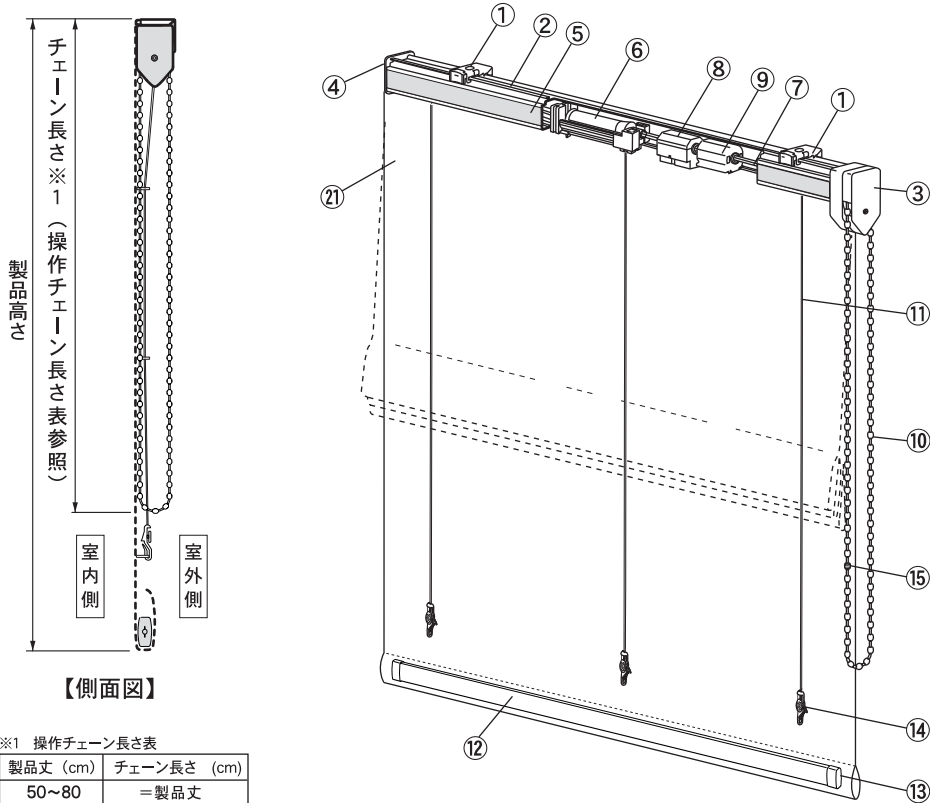
⦸ 製品に物を吊り下げたりぶら下がったりしないでください。製品が破損したり､落下したりする恐れがあります。

⦸ 急激な操作や無理な操作は､絶対におやめください。製品の落下や､破損の恐れがあります。

⚠注意

⦸ 強風の時は､必ず窓を閉めるか幕体をたたみ上げた状態にしてください。

⦸ メカ部分の分解や可動部への注油は､破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。

⦸ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。

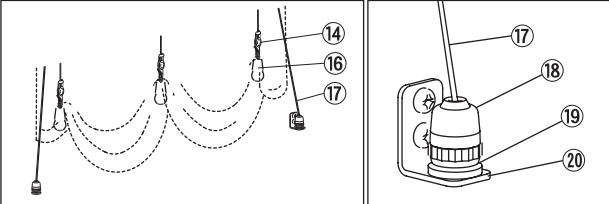
⦸ 必ず操作チェーンを持って操作を行ってください。幕体やウエイトバーを持って操作を行わないでください。

⦸ 昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。

製品全体図及び各部の名称（シングル）

【側面図】

※1　操作チェーン長さ表

製品丈（cm）	チェーン長さ（cm）
50～80	＝製品丈
81～100	70
101～120	90
121～140	110
141～160	130
161～180	150
181～200	170
201～220	180
221～240	200
241～260	220
261～280	240
281～300	260

*操作チェーン長さ指定可能

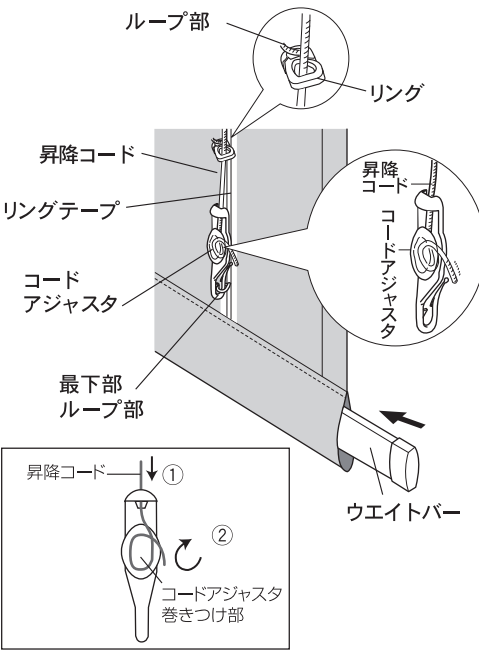
ガイドコード詳細図

①取付けブラケット	⑧速度調整装置	⑮セーフティジョイント
②フレーム	⑨ストッパー	⑯ウエイト
③操作部	⑩操作チェーン	⑰ガイドコード
④フレームキャップ	⑪昇降コード	⑱ガイド固定具（上キャップ）
⑤マジックテープ	⑫ウエイトバー	⑲ガイド固定具（下キャップ）
⑥巻取り部	⑬ウエイトバーキャップ	⑳ガイド固定具取付け金具
⑦六角シャフト	⑭コードアジャスタ	㉑幕体

お手入れ方法（シングル・ツイン共通）

●幕体の取付け方法

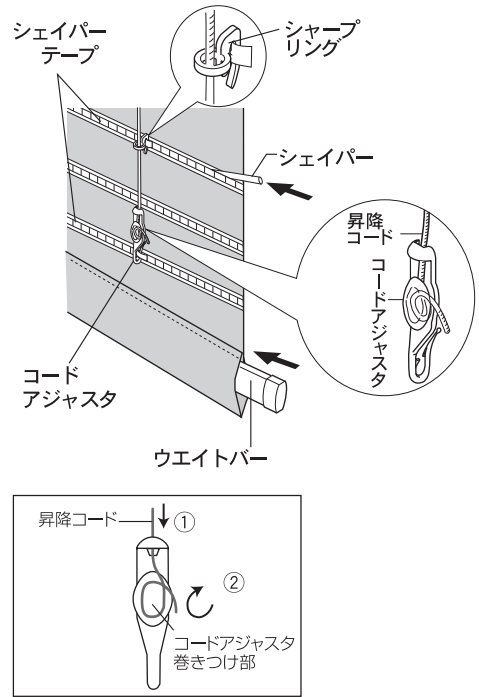
プレーンスタイルの場合

❶ フレームに幕体を取付けてください。
❷ リングの小さい方の穴をリングテープのループに取付けてください。
❸ 最下部のループ部へは、コードアジャスタを取付けてください。
❹ ウエイトバーを幕体に差し込んでください。
❺ 昇降コードをリングの大きい方の穴に通してください。幕体上部から順に通します。
万が一、通し忘れた場合には、リングの横の切込みから昇降コードを入れることもできます。
❻ コードアジャスタの上部から昇降コードを通し（①）、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。次にコードアジャスタ巻きつけ部（②）に余った昇降コードを2,3回転巻き付けてください。

※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所（あるいはペンで印をつけた所）を目安にしてください。

シャープスタイルの場合

❶ フレームに幕体を取付けてください。
❷ コードアジャスタを最下部のシェイパーテープに、シャープリングをシェイパーテープに取付けてください。
❸ シェイパーをシェイパーテープに差し込んでください。
❹ ウエイトバーを幕体に差し込んでください。
❺ 昇降コードをシャープリングに通してください。
コードアジャスタの上部から昇降コードを通し（①）、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。次にコードアジャスタ巻きつけ部（②）に余った昇降コードを2,3回転巻き付けてください。

※コードアジャスタ、シャープリングの取付けや、昇降コードを通すときは、あらかじめシェイパーテープに付けた印の位置でおこなうようにしてください。

※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所（あるいはペンで印をつけた所）を目安にしてください。

お手入れ方法（シングル・ツイン共通）

●幕体の取外し方法

シャープスタイルの場合

※以下の位置にあらかじめペンで印を付けておくと､後で幕体の取付けがしやすくなります。
その際､幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

- 昇降コード･･･コードアジャスタ上端部の位置。

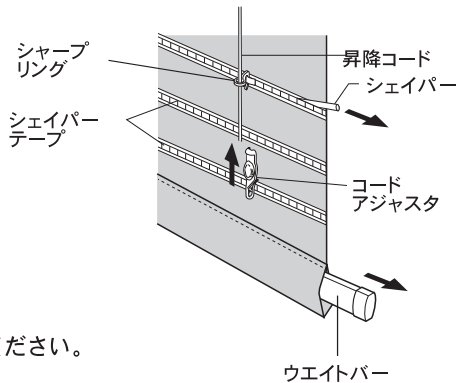
シェイパーテープ･･･コードアジャスタを取付けている位置や､シャープリングを取付けている位置。

❶幕体を降ろしてください。

❷コードアジャスタから昇降コードをほどいて､コードアジャスタ、シャープリングをシェイパーテープから取外してください。

※コードアジャスタ､シャープリングはなくさないように保管しておいてください。

❸ウエイトバー､シェイパーを取外してください。

※シェイパーはなくさないように保管しておいてください。

バルーン　スタイルの場合

※昇降コードをコードアジャスタから取外す前に､あらかじめ昇降コードへ(コードアジャスタ上端部の位置に)ペンで印をつけておくと､後で昇降コードを巻く位置の目安となり､取付けしやすくなります。
その際､幕体をペンで汚さないように、ご注意ください。

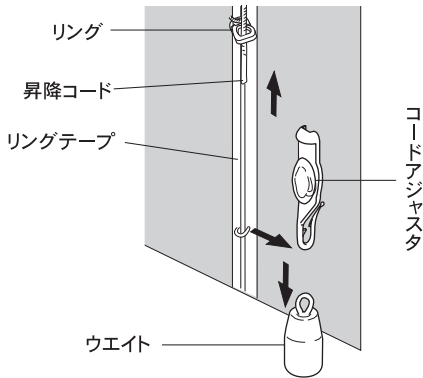
❶フレームから幕体を取外してください。

❷幕体を降ろしてください。

❸コードアジャスタからウエイトを取外してください。
コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをリングテープから取外してください。

※ウエイト､コードアジャスタはなくさないように保管しておいてください。

❹フレームから幕体を取外してください。

❺リングテープからリングを取外してください。

(P.15幕体の取外し方法､プレーンスタイルの場合参照)

※リングは無くさないように保管しておいてください。

付属部品・ブラケット寸法図（シングル）

製品幅(mm) ＼ 部品名	取付けブラケット	ブラケット用ビス	※ガイド固定具	※ガイド固定具用ビス	※ガイド固定具取付け金具	※ガイド固定具取付け金具用ネジ
～1200	２個	２本	２個	４本	２個	２本
～2000	３個	３本				
～3000	４個	４本				
～4000	５個	５本				

※印はガイドコード付きの場合

●ブラケット・フレーム納まり図

スタイル（シングル）

プレーン

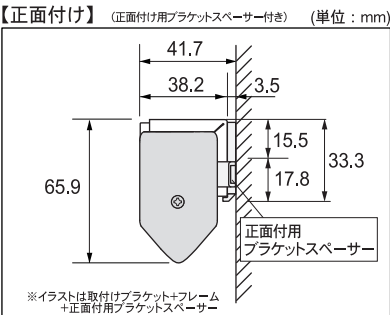
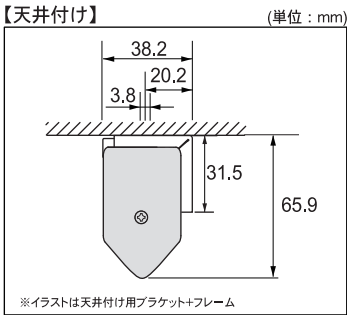
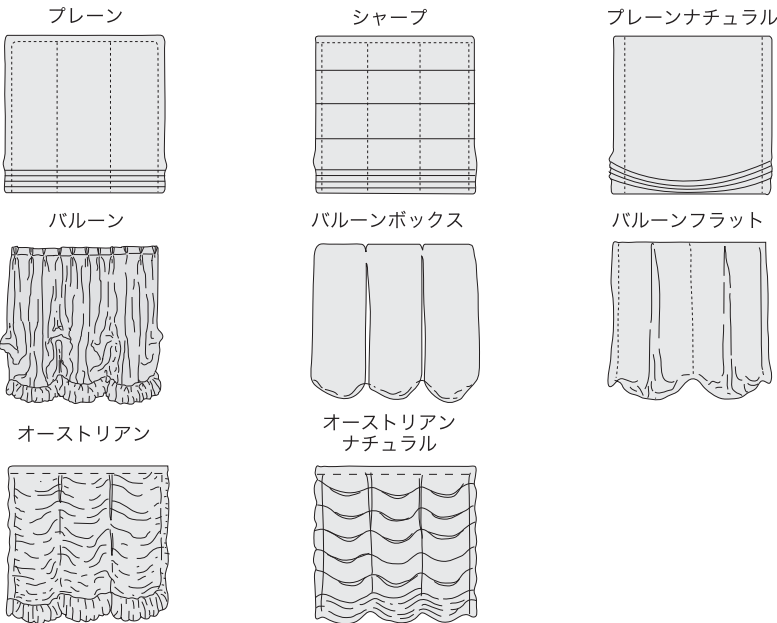
シャープ

プレーンナチュラル

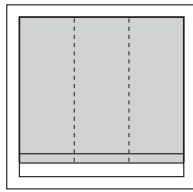
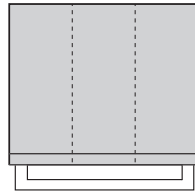
バルーン

バルーンボックス

バルーンフラット

オーストリアン

オーストリアンナチュラル

製品の取付け方法（シングル）

取付けバリエーション

●内付け（天井付け）
窓枠の内側に取付る方法

●外付け（正面付け）
窓枠の外側に取付る方法

■取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）

警告

- 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には、使用しないでください。
- 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付けの位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

必要な工具　・プラスドライバー　・巻尺（スケール）

1)製品の確認

製品の変形、破損、付属部品の不足等が無いことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんのでお買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

2)取付け下地の確認

・製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
・木部に取付ける時には、厚さが10mm以上であることを確認してください。
・木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
・取付け部が水平になっているか確認してください。

3)取付けブラケットの取付け

①取付けブラケットの位置決め

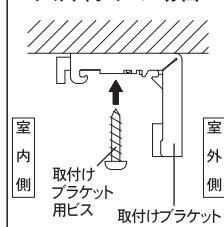
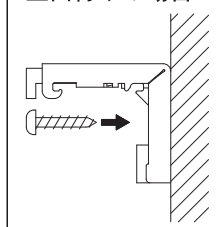
・取付けブラケットは、製品の左右からそれぞれ40～100mmの間にくるように位置を決めてください（サインペン等で印を付けます）。
・取付けブラケットが3個以上の場合（製品幅が1200mm以上の場合）は取付けブラケット間隔が均等に並び、一直線上にそろうように（正面付けの場合は、取付けブラケットの高さがそろう）ように残る1～2個の取付けブラケット位置を決めてください。

例）　ブラケット3個の場合

●取付けブラケットの位置はサインペン等で下地に印を付けておくと取付けが簡単です。

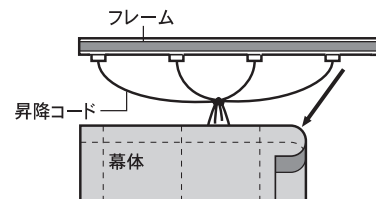
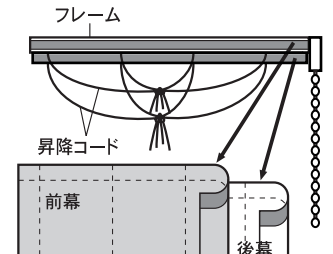
②取付けブラケットの取付け

・右図のように、取付けブラケット用ビスでしっかりと固定してください。

天井付けの場合

正面付けの場合

お手入れ方法（シングル・ツイン共通）

幕体のお手入れについて

●幕体裏面の取扱い方法を記載したラベルを確認してください
●洗濯絵表示ラベルがついている場合は、ラベルの記載内容にしたがってください。
●お手入れ方法ラベルがついている場合は,ラベルの記載内容にしたがってください。

※ヘッドレールから幕体を取外した後､コード類は､絡み､抜けないように必ず束ねて結んでおいてください。

〈シングル〉

〈ツイン〉

●幕体の取外し方法

プレーンスタイルの場合

※昇降コードをコードアジャスタから取外す前に、あらかじめ昇降コードへ（コードアジャスタ上端部の位置に)ペンで印をつけておくと､後で昇降コードを巻く位置の目安となり､取付けやすくなります。その際､幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

❶幕体を降ろしてください。

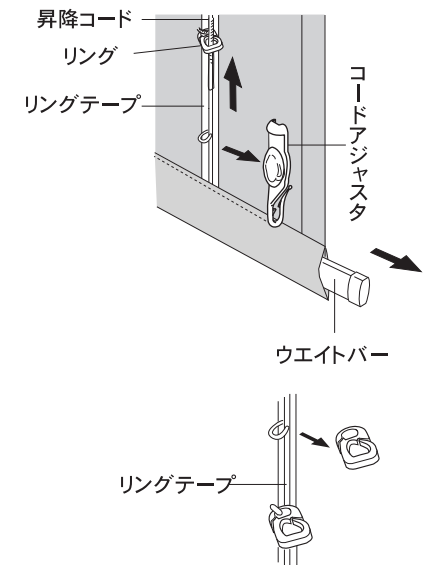
❷コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをリングテープから取外してください。

※コードアジャスタは無くさないように保管しておいてください。

❸ウエイトバーを幕体より取外してください。

❹フレームから幕体を取外してください。

❺リングテープからリングを取外してください。

※リングはなくさないように保管しておいてください。

操作方法（ツイン）

⚠注意

- ❗ 幕体の昇降操作は必ず操作チェーンで行ってください。
- ❗ 幕体を降ろすときは必ず操作チェーンに手を添えて操作してください。
  途中で手を離すと幕体が勢いよく降りることがあり危険です。

※奥の後幕を操作するときは、手前の前幕を上げた状態で行ってください。

手前側（室内側）の前幕の昇降

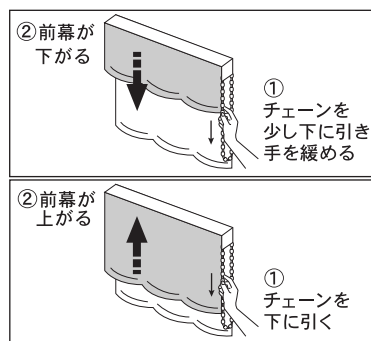
●前幕を降ろすとき

手前側（室内側）のチェーンを少し下に引き、手を緩めると前幕がゆっくりと下がります。

途中で止めたい場合は、再び手前側（室内側）のチェーンを少し引くと、前幕が止まります。

●前幕を上げるとき

手前側（室内側）のチェーンを下に引くと前幕が上がります。

手を緩めると、前幕が止まります。

奥側（室外側）の後幕の昇降

●後幕を降ろすとき

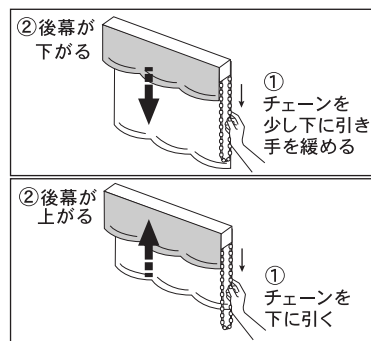
奥側（室外側）のチェーンを少し下に引き、手を緩めると後幕がゆっくりと下がります。

途中で止めたい場合は、再び奥側（室外側）のチェーンを少し引くと、後幕が止まります。

●後幕を上げるとき

奥側（室外側）のチェーンを下に引くと後幕が上がります。

手を緩めると、後幕が止まります。

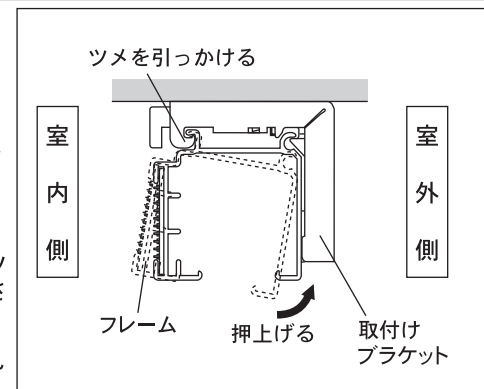
⚠ 注意

幕体を降ろす際は、幕体の降ろす位置にものがないことを確認してから操作してください。

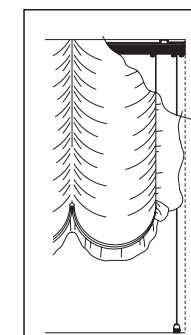
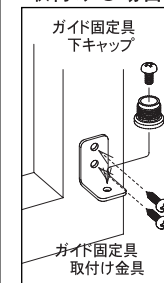
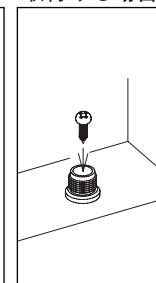
製品の取付け・取外し方法（シングル）

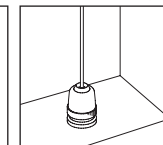
4）製品の取付け

①製品本体の取付け

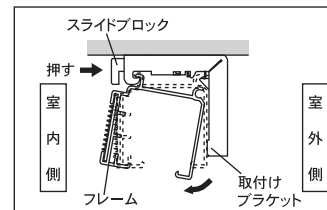
- 幕体を、たたみ込んだままの状態で取付けてください。
- 取付けブラケットの手前のツメに、フレームのツメを引っかけてください。
- フレームを取付けブラケットのツメに引っかけた状態で左右の位置決めをしてください。
- 取付け位置が決まったら、取付けブラケットのツメがかかるまでフレームの奥を押し上げてください（ツメがかかるとパチンと音が鳴ります）。

※フレームが取付けブラケットに確実に取付けられていることを、必ず確認してください。

②ガイドコードの取付け（ガイドコード付の場合のみ）

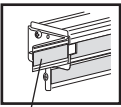
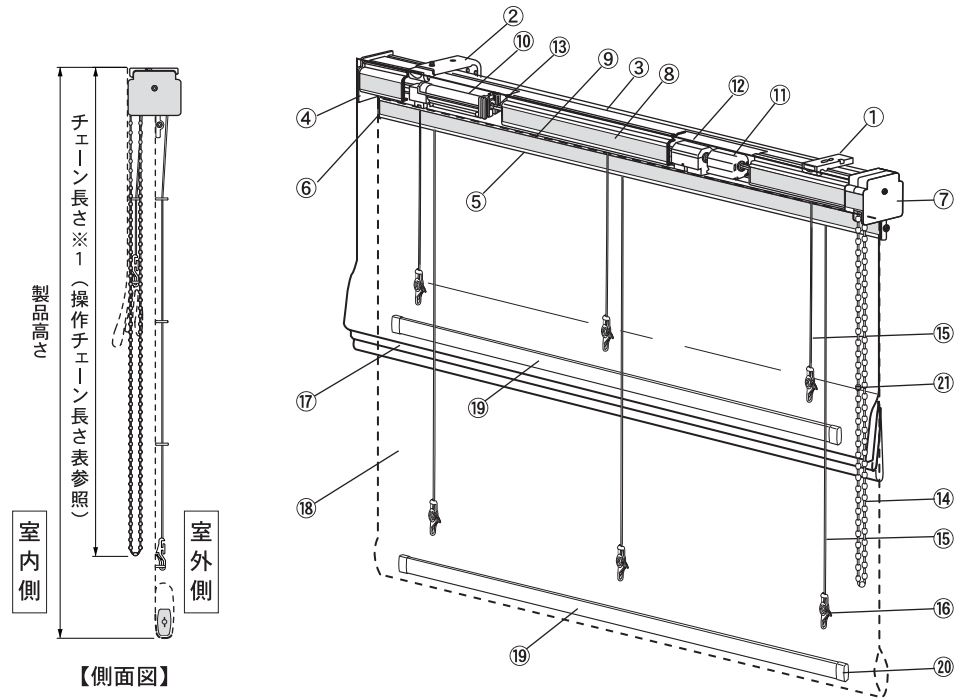
- 両サイドの昇降コード脇に通してあるガイドコードを真っ直ぐに降ろした位置に、ガイド固定具の下キャップをしっかりと固定します。（壁面に取付ける場合は、ガイド固定取付け金具を併せて使用してください。）

壁面に取付ける場合　床面に取付ける場合

- 両サイドに通してあるガイドコードを、ガイド固定具の下キャップに届く長さでカットし、ガイド固定具の上キャップを通した上で、コードが抜けないように結びます。
- ガイド固定具の上キャップをガイド固定具の下キャップにしっかりとねじ込み固定します。この時、両側のガイドコードのテンションが均等になるように、また生地の両サイドが真っ直ぐに降りるように結び目を調整したください。

壁面に取付ける場合　床面に取付ける場合

● 製品の取外しかた

- 幕体を全てたたみ上げてください。
- 製品を支えた状態で、取付けブラケットのスライドブロックを押すとフレーム後ろ側のロックが解除され、フレームが外れます。

※ガイドコード付の場合は、ガイド固定具を外してから取り外し作業を行ってください。

注意

製品が落下しないように両手で製品全体を支えながら作業してください。
また、幕体を引っ張ると破損することがありますのでご注意ください。

製品全体図及び各部の名称（ツイン）

リターン金具
オプション仕様
（前幕のみ長さ50mm）

※1　操作チェーン長さ表　　　　＊操作チェーン長さ指定可能

製品丈（cm）	チェーン長さ(cm)	製品丈（cm）	チェーン長さ(cm)
50～80	＝製品丈	181～200	170
81～100	70	201～220	180
101～120	90	221～240	200
121～140	110	241～260	220
141～160	130	261～280	240
161～180	150	281～300	260

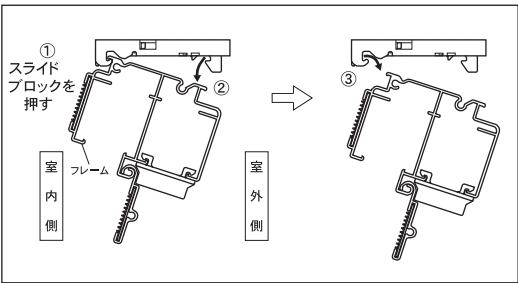
①取付けブラケット	⑧マジックテープ	⑮昇降コード
②正面付け補助金具	⑨抜け止め(フレームBの裏側)	⑯コードアジャスタ
③フレームＡ	⑩巻取り部	⑰前幕
④フレームＡキャップ	⑪ストッパー	⑱後幕
⑤フレームＢ	⑫速度調整装置	⑲ウエイトバー
⑥フレームＢキャップ	⑬六角シャフト	⑳ウエイトバーキャップ
⑦操作部	⑭操作チェーン	㉑セーフティジョイント

製品の取外し方法（ツイン）

生地を2枚ともたたみ上げた状態で、手前側(室内側)の生地と奥側(室外側)の生地をフレームからはがしてください。

①取付けブラケット前方のスライドブロックを押込み、

②奥のフレームを取付けブラケット後方のツメから外してください。

③手前のフレームを前方のツメから外してください。

注意

製品が落下しないように製品全体を両手で支えながら作業をしてください。

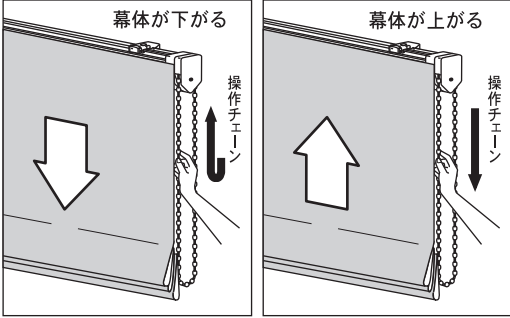
操作方法（シングル）

注意

- 幕体の昇降操作は必ず操作チェーンで行ってください。
- 幕体を降ろすときは必ず操作チェーンに手を添えて操作してください。途中で手を離すと幕体が勢いよく降りることがあり危険です。

●幕体を降ろすとき

①操作チェーンの手前（室内側）を少し下に引き、手を緩めると幕体がゆっくり下がります。

②途中で止めたい場合は、再び操作チェーンの手前（室内側）を少し引き、手を緩めると生地が止まります。

●幕体を上げるとき

①操作チェーンの手前（室内側）を下にひくと、幕体が上がります。

②手を緩めると幕体が止まります。

注意

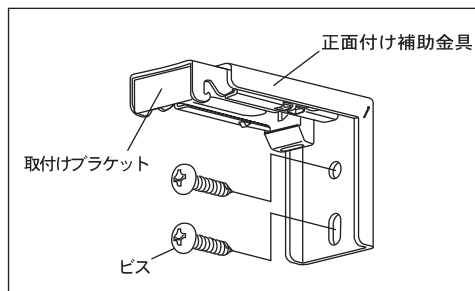
幕体を降ろす際は、幕体の降ろす位置にものがないことを確認してから操作してください。

製品の取付け・取外し方法（ツイン）

4）取付けブラケットの取付け

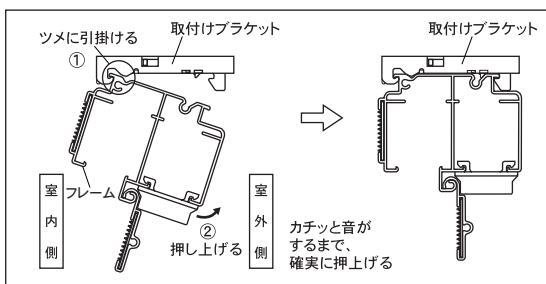
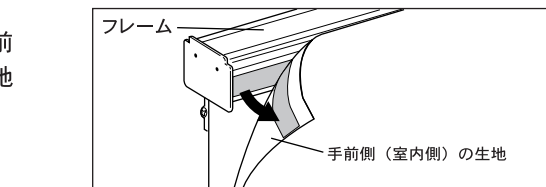
●正面付け

①取付けブラケットを付属のネジで正面付け補助金具に取付けた後、

②付属のビスで正面付け補助金具をしっかりと固定してください。

5）製品の取付け

生地は2枚ともたたみ上げた状態で、手前側(室内側)の生地と奥側(室外側)の生地をフレームからはがしてください。

①フレームを両手で持ち取付けブラケット前方のツメに、フレーム手前のツメを引っ掛け、左右のバランスを見て位置を決めてください。

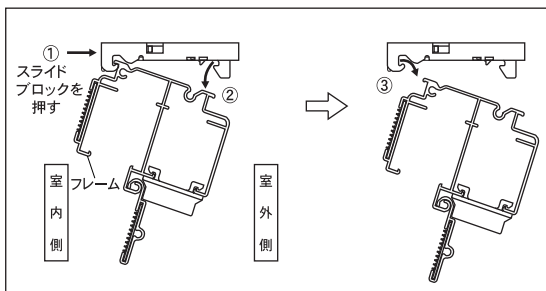
②取付け位置が決まったら、フレームを矢印②の方向に持っていきます。取付けブラケット後方のツメに奥のフレームの上部を、カチッと音がするまで確実に押し込んでください。
最後に、はがした生地を奥側の生地からフレームに貼ってください。

※フレームが取付けブラケットに確実に固定されていることを必ず確認してください。

●製品の取外しかた

生地は2枚ともたたみ上げた状態で、手前側（室内側）の生地をフレームからはがしてください。

①製品を両手で持ち、取付けブラケット前方のスライドブロックを押し込みます。

②奥のフレームを取付けブラケット後方のツメから外してください。

③手前のフレームをツメから外してください。

⚠ 注意

生地をはがさずに取付けると､取付けブラケットのツメに生地がはさまってフレームが完全に取付けられず､製品自体が落下するおそれがあります。

付属部品（ツイン）

●天井付け用

製 品 幅	～1200mm	～2000mm	～3000mm	～4000mm
取付け ブラケット	2個	3個	4個	5個
ブラケット 取付け用ビス	2個	3個	4個	5個

●正面付け用

製 品 幅	～1200mm	～2000mm	～3000mm	～4000mm
取付け ブラケット	2個	3個	4個	5個
正面付け 補助金具	2個	3個	4個	5個
ブラケット 取付け用ビス	4個	6個	8個	10個

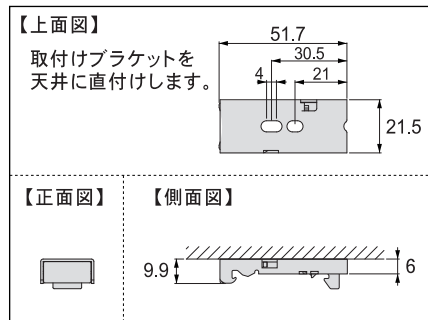
ブラケット寸法図（ツイン）

●天井付け用

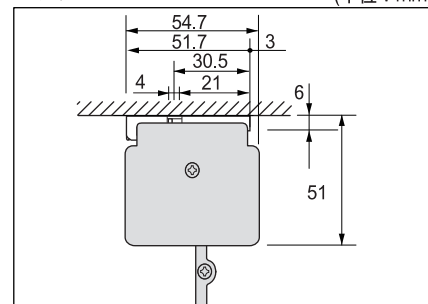
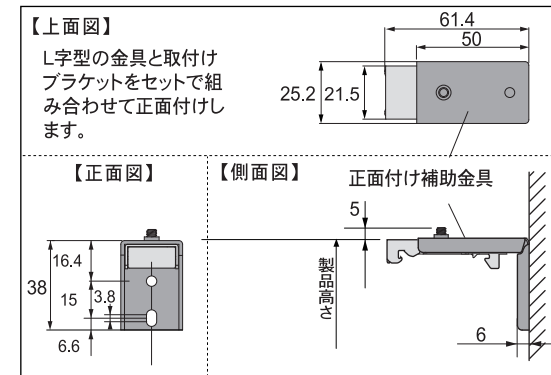
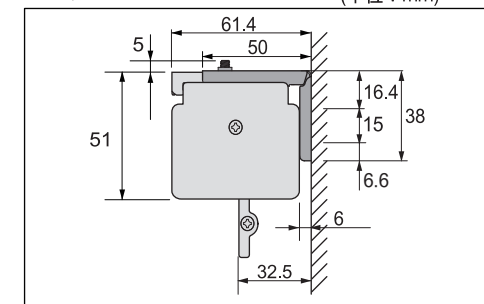
(単位：mm)

【上面図】

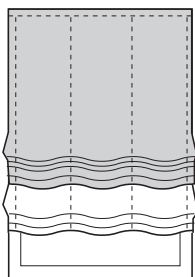
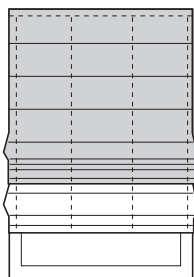
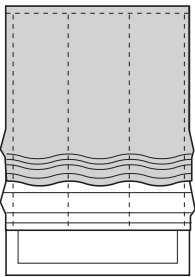
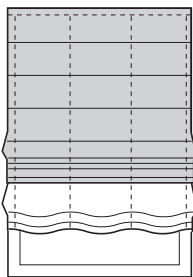
取付けブラケットを天井に直付けします。

●正面付け用(正面付け補助金具付き)

(単位：mm)

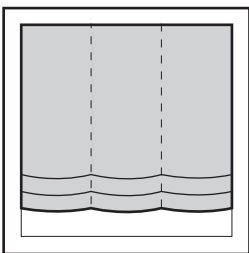
●ブラケット・フレーム納まり図

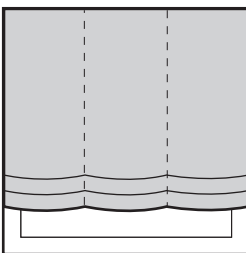
【天井付け】 (単位：mm)

※イラストは天井付け用ブラケット+フレーム

【正面付け】 (単位：mm)

※イラストは天井付け用ブラケット+フレーム
+正面付け補助金具

スタイル（ツイン）

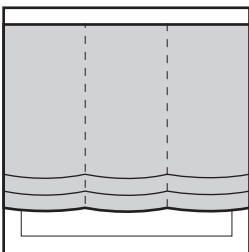
プレーン・プレーン

シャープ・シャープ

シャープ・プレーン

取付けバリエーション（ツイン）

●内付け（天井付け）

窓枠の内側に取付ける方法

●外付け（正面付け】

窓枠の外側に取付ける方法

※ブラケットの取付けについて
前幕、後幕が同等サイズの仕上りの場合（通常仕様）の取付けとなります。
ブラケットの取付けは、P.11 P.12の天井付け正面付けを参照してください

●内付け（天井付け）

前幕で窓枠を覆う場合
窓枠の内側に取付ける方法

※ブラケットの取付けについて
この取付けかたは、前幕が窓枠内側より大きく仕上がっている場合のみが対照となります。ブラケットの取付けは、P.11の天井付け（手前の生地で窓枠を覆う場合）を参照してください。

■取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）

⚠ 警告

- 🚫 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には、使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付けの位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

製品の取付け・取外し方法（ツイン）

必要な工具・プラスドライバー　・巻尺（スケール）

1) 製品の確認

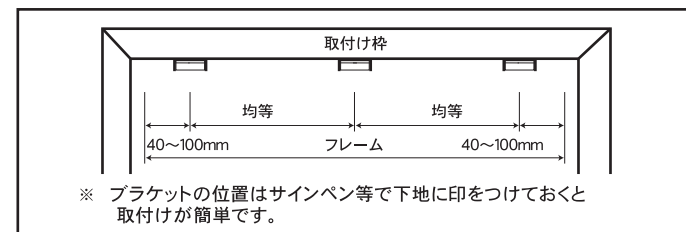
製品の変形、破損、付属部品の不足等が無いことを確認してください。
異常がある場合は取付けできませんのでお買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

2) 取付け下地の確認

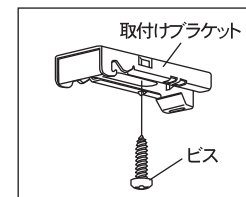
- 製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
- 木部に取付ける時には、厚さが10mm以上であることを確認してください。
- 木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
- 取付け部が水平になっているか確認してください。

3) 取付けブラケットの位置

取付けブラケットは、フレームの左右の端からそれぞれ40～100mmの間に取付けブラケットの中心がくるように位置を決めてください。
取付けブラケットが3個以上の場合はブラケット間の距離が、均等かつ一直線上にくる（正面付けの場合は、ブラケットの高さがそろう）ように位置を決めてください。

※　ブラケットの位置はサインペン等で下地に印をつけておくと取付けが簡単です。

4) 取付けブラケットの取付け

●天井付け（窓枠内・カーテンボックスに取り付ける場合）

右図のように、付属のビスで取付けブラケットをしっかりと固定してください。

●天井付け

（手前の生地で窓枠を覆う場合）

右図のように、ブラケットを室内側に10mm程度持出して、付属のビスでしっかりと固定してください。